

後期リーグがいよいよ開幕！四国学院大学 vs 松山大学の延期試合を除く 2 試合が行われた。



高松大学 4(2-0)0 愛媛大学



前期 2 位の高松大学（勝点 8）と前期 6 位の愛媛大学（勝点 3）との試合は、開始早々 7 分 ⑩川西のコーナーキックに⑬楠が頭で合わせて先制すると、35 分にも⑩川西からのアシストで⑨矢野が決めてリードを 2 点にして前半を折り返す。前期の対戦では、ここから愛媛大学が 2 点を返す展開だったことから、両大学の入りが注目された後半、先に動いたのは愛媛大。

HT⑳大田に代わり⑬披田を投入し、徐々に流れを引き寄せると、53 分高松大は⑥松本の得点で突き放す。

その後も愛媛大の積極的な交代から攻勢に出るも得点ならず。最後は⑨楠にさらに追加点を与えることとなり、前期に続き、高松大が勝利を収め、暫定ながら首位浮上となった。



高知大学 1(1-0)2 聖カタリナ大学



前期 3 位の高知大学（勝点 8）と前期 5 位の聖カタリナ大学（勝点 4）の試合は、先の総理大臣杯で全国に出場した高知大学が前半を優位に進める。開始早々 3 分 ⑫岡田からのクロスをもとに⑰丸木が頭で合わせて先制し、その後も高知大がゴールに迫る回数が多いものの得点を奪えず後半へ。

後半、修正してきた聖カタリナ大が攻勢を強めると高知大学のファールが増えてくる。聖カタリナ大⑩豊田のパスを⑦上瀧が右足で決めて同点とし、勢いに乗ると 75 分 ⑪玉井のミドルが決まり逆転！開幕戦の雪辱を果たした聖カタリナ大が貴重な勝点 3 をものにし、敗れた高知大は次節、首位と勝点 11 で並ぶ四国学院大学とのアウェー戦が重要となる。



—折り鶴賞<警告・退場がなく、尚且つ、フェアプレーであったと認められたチームに与えられる



四国学院大学 1(0-0)0 松山大学



後期リーグここまで勝点を上手く掴めていない3位四国学院大学（勝点11）と5位松山大学（勝点7）の一戦！勝点をなんとしても掴みたい両チームは、慎重な立ち上がりから攻めぎ合うも、なかなかシュートまで持ち込めない展開が続き、前半はゴールが生まれず、後半へ。均衡状態を崩したい後半、先に動いたのは四学大。HTに⑦熊野と②⑤梅津を交代で投入すると徐々に流れを掴むと74分⑦熊野が右サイドから切込み、⑩刑部へ。刑部はこれをスルーし、⑮神高へ。刑部へ繋ぐと左足を振り抜いて先制！終盤、松山大はボール保持を高め、攻勢を強めるも四学大の集中力のある守備を崩しきれず試合終了！1点を守り切った四学大が貴重な勝点3を掴み優勝争いに踏みとどまった。



### 次節<9月17日(土)>みどころ

14:00 四国学院大学 vs 高知大学 香川県東部運動公園天然芝

(2位勝点11) (3位勝点8)

1 試合消化が少ないながら首位と勝点11で並ぶ2位四国学院大学と全日本インカレへの出場の可能性を残すには、何としても負けられない高知大学の一戦！前期は、互いに決定機を決められずスコアレスドローに終わっただけに、どちらが先制するかが重要となる。

14:00 聖カタリナ大学 vs 高松大学 愛媛県西条市ひうち陸上競技場

(5位勝点7) (1位勝点11)

高知大学を破り、1・2年生主体で勢いに乗る聖カタリナ大学と首位にたった高松大学の一戦は、互いに勝ち点3がほしい。前回の対戦では7対0と高松大学が圧勝しているだけに前半のゲームの入りが両チームにとって重要となってくる。

16:30 松山大学 vs 愛媛大学 愛媛県 愛フィールド梅津寺

(4位勝点7) (6位勝点3)

全日本インカレ出場へ勝ち点3がほしい松山大学と5位との勝点差4を考えると負けられない愛媛大学との一戦は、後半の戦い方がカギとなる。前回の対戦では後半にプランが崩れた愛媛大学と後期初戦となる松山大学の一戦は、両チームが試合全体をどのようにコーディネートしてくるのか注目だ！

